

科目名	基礎看護学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (基礎看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎准教授 新井直子 准教授 砂見緩子 准教授 伊豆上智子						
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	基礎看護学特講Ⅰ・Ⅱや基礎看護学演習において、看護技術や看護実践に関して明確化された自己の研究課題を解決するために、研究のプロセス(研究計画書作成、データ収集、分析、考察)にそって研究論文を完成する。さらに、一連のプロセスを通して、基礎的研究能力を習得する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.研究計画書を作成することができる。</li> <li>2.データ収集することができる。</li> <li>3.データの特質に適した方法でデータを分析することができる。</li> <li>4.結果をもとに考察することができる。</li> </ol>						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【行動目標】</p> <p>研究のプロセスにそった研究論文を完成させることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題を抽出し、明確化し、言語化して表現することができる。</li> <li>・先行研究をクリティークすることができる。</li> <li>・研究デザインを検討して決定することができる。</li> <li>・研究方法を選択し、研究計画書を作成することができる。</li> <li>・研究倫理審査の受審に必要な文書を作成することができる。</li> <li>・データを収集することができる。</li> <li>・データを分析することができる。</li> <li>・結果を記述することができる。</li> <li>・結果を考察することができる。</li> <li>・研究の限界と今後の課題を明示することができる。</li> <li>・結論を明らかにすることができる。</li> <li>・論文を作成し、成果として公表することができる。</li> </ul>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	自主的に研究に取り組み、研究のプロセスを進めるとともに、他者の意見を取り入れ、研究内容をよりブラッシュアップすること。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。授業の中で適宜紹介する。						
参考書	特に定めない。授業の中で適宜紹介する。						
成績評価の方法および基準	研究計画書30%、中間発表20%、研究論文および論文に対する口頭試問50%により評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 レポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行うので活用すること。 カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示しているので確認すること。						